



SDGs と 私たち V



～食べ物循環とSDGs～

世界から貧困をなくすための国際協力、人権やジェンダー、不公正を是正する！
「誰ひとり取り残さない！」ために、食べ物の安全な循環とSDGsを考えましょう。

未来の子どもたちのために

食の安全 を守る人々

農業の大幅規制緩和、ゲノム編集食品の流通——
わたしたちのカラダや食の未来は？
メディアが伝えない食の裏側に迫るドキュメンタリー

監督・撮影・編集：原村 政樹
プロデューサー：山田 正彦 語り：杉本 彩 音楽：鈴木 光男 企画・制作：一般社団法人 心土不二 配給：きろくびと
2021年/日本/カラー/102分 kiroku-bito.com/shoku-anzen



第1部 活動報告

- ☆学習会「とりのさと農園」
- ☆食に関する意識調査
- ☆「中部有機リサイクルKK」見学

第2部 映画上映

- ★『食の安全を守る人々』
(上映時間 103分)

「アグリビジネス」は日本に幸せをもたらすのか—
それとも日本は世界の潮流に逆行しているのか？
日本で、海外で農と食の持続可能な未来図を描く人たち・・・を描く映画です。

私たちは食べ物について、今真剣に向き合わねば手遅れになりそうです。不安に向き合い、共に考えましょう！

(c)心土不二

参加無料！
定員50名

2023年12月9日(土) 13:30~16:00

ウィルあいち3F 大会議室 (名古屋市東区上野町1/TEL: 052-962-2511)

☆問合せ/申込み 油田：FAX (052-939-5255)

森田：tokiko@sb.starcats.ne.jp

主催：地域開発みちの会

地域開発みちの会

HP <http://www.aichi-michinokai.com/>



映画『食の安全を守る人々』



種子法廃止、種苗法の改定、ラウンドアップ規制緩和、そして表記無しのゲノム編集食品流通への動きと、TPP に端を発する急速なグローバル化により、日本の農と食にはこれまで以上の危機が押し寄せています。しかし、マスコミはこの現状を正面から報道することはほとんどなく、日本に暮らす私たちの危機感は薄いのが現状です。

この傾向がひどくなれば、多国籍アグリビジネスによる支配の強まり、食料自給率の低下や、命・健康に影響を与えることが懸念される中、元農林水産大臣の山田正彦弁護士が、長年農業をテーマに制作を続けている原村政樹監督との二人三脚で撮影を進め、日本国内だけでなく、アメリカのモンサント裁判の原告や、子どものために国や企業と闘う女性、韓国の小学校で普及するオーガニック給食の現状など幅広く取材。

果して日本の食の幸せな未来図はどこに・・・。

地域開発みちの会

1987 年愛知県主催の「地域婦人問題開発研究会」を修了した名古屋・知多地域の女性たちによって、自主的に結成された団体です。会の目的は、女性の資質と地位の向上、そして社会参画を促進し、地域社会の発展に寄与することにあります。2002 年 4 月 1 日の「愛知県男女共同参画推進条例」施行に伴い、地域に根ざした男女共同参画社会を目指し、時宜に応じた目標とテーマを掲げて学習と実践活動を重ねています。

・ 地域開発みちの会と SDGs 活動 ・



国連は「地球上で私たちの子孫が生き続けられるためには何をなすべきかをまとめた SDGs（持続可能な開発のための 17 目標）」を採択しました。

地域開発みちの会は第 5 目標「ジェンダー平等」に着目し、グローバルな世界から日々の生活、人権、平和、環境等すべてが、今私たちが生きているこの地球上で繋がっていることを学びました。

世界経済はグリーンエコノミーに傾いてきましたが、生活者である私たちの視点を欠けば、新たな企業戦略・営利目標になりかねません。

地域開発みちの会はこれまで「環境」、「平和・公正・パートナーシップ」、「ジェンダー平等とまちづくり」、「戦場の映像」と 4 回にわたって SDGs の重要性を共有してきました。今年も私たちに必須の「食」について、考え合しましょう。

申込み

油田：(F) 052-939-5255

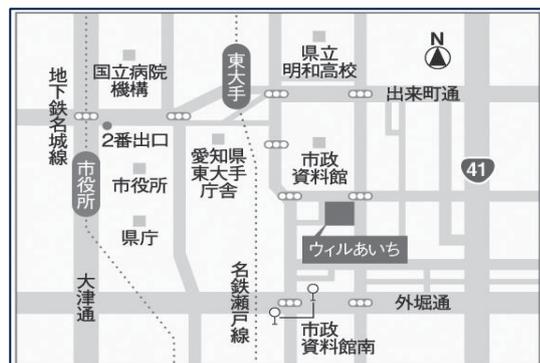
森田：tokiko@sb.starcat.ne.jp

氏名

連絡先

TEL

Mail



☆地下鉄「名古屋城」駅より徒歩 10 分

☆名鉄瀬戸線「東大手」駅より徒歩 8 分

☆基幹バス「市役所」下車徒歩約 10 分